

改訂日 2022 年 12 月 19 日(第 14 版)

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	ガンバ® 水和剤 (ジアフェンチウロン水和剤)
会社名	シンジェンタジャパン株式会社
住所	〒104-6021 東京都中央区晴海 1 丁目 8 番 10 号オフィスタワーX 21 階
担当部門	HSEグループ
電話番号	03-6221-1027
E メールアドレス	SDS-JP@syngenta.com
緊急連絡先	同上
推奨用途及び使用上の制限	殺虫剤

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

健康に対する有害性:	急性毒性(経口)	区分 4
	急性毒性(吸入)	区分 4
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 2A
	発がん性	区分 1A
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分 2(肺)
環境に対する有害性:	水生環境有害性 短期(急性)	区分 1
	水生環境有害性 長期(慢性)	区分 1
* 記載がないものは「区分に該当しない(分類対象外を含む)」または「分類できない」		

ラベル要素

絵表示又はシンボル:



注意喚起語:	危険
危険有害性情報:	飲み込むと有害
	吸入すると有害
	強い目刺激
	発がん性のおそれ
	長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ(肺)
	水生生物に非常に強い毒性
注意書き:	【安全対策】 使用前に取扱説明書を入手する。

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わない。
 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しない。
 取扱い後は皮膚をよく洗う。
 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしない。
 屋外又は換気の良い場所でだけ使用する。
 環境への放出を避ける。
 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用する。

【応急措置】

飲み込んだ場合：気分が悪い時は医師に連絡する。口をすすぐ。
 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。気分が悪い時は、医師に連絡する。
 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗う。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。
 目刺激が続く場合：医師の診察／手当てを受ける。
 気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受ける。
 漏出物を回収する。

【保管】

施錠して保管する。

【廃棄】

内容物や容器を廃棄する場合は、国／都道府県／市町村の規則に従って廃棄する。

GHS 分類に該当しない他の危険有害性

粉じん雲の濃度が爆発範囲に入るおそれがある。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別	混合物
化学名【一般名】	1-tert-ブチル-3-(2, 6-ジイソプロピル-4-フェノキシフェニル)チオ尿素 【一般名：ジアフェンチウロン】

成分	含有量(%)	化学式	官報公示 整理番号	CAS番号
ジアフェンチウロン	50.0	C ₂₃ H ₃₂ N ₂ O ₅	4-(13)-174	80060-09-9
ポリオキシエチレンアルキル フェニルエーテル	5.0		7-172	9002-93-1
アルキルベンゼンスルホン酸 ナトリウム	1.5		3-1884/3-1906	68411-30-3
ほう酸	>=0.1 - <0.3		1-63	10043-35-3
ほう酸ナトリウム	>=0.1 - <0.3		1-69	1303-96-4
結晶質シリカ	>=0.1 - <1		1-548	14808-60-7
鋳物質微粉、界面活性剤等		—	—	—

4. 応急措置

一般的アドバイス	緊急連絡先、中毒情報センターや医師に電話する場合、または治療を受けに行く場合は、製品容器、ラベル、安全データシートを手元に用意する。
吸入した場合	被災者を空気の新鮮な場所に移す。呼吸をしていない場合や呼吸が不規則な状態である場合、人工呼吸を施す。安静・保温に努める。直ちに医師又はまたは中毒情報センターに連絡する。
皮膚に付着した場合	直ちに汚染された衣類を脱ぐ。直ちに多量の水を用いて洗い流す。皮膚の炎症が継続する場合は、医師に連絡する。汚染された衣類は再使用する前に洗濯する。
眼に入った場合	直ちに多量の水で 15 分間以上まぶたの内側も含め洗う。コンタクトレンズを外す。医師の診察／手当を受ける。
飲み込んだ場合	直ちに医師の手当を受ける。医師に製品容器又はラベルを見せる。無理に吐かせない。
最も重要な急性および遅発性の症状	特異的な症状はない。 既知または予想される症状はない。
医療関係者への情報	特定の解毒剤はない。 対症療法を行う。

5. 火災時の措置

消火剤	小規模火災時： 噴霧放水、耐アルコール性泡消火剤、粉末消火剤、二酸化炭素 大規模火災時： 耐アルコール性泡消火剤、噴霧放水
使ってはならない消火剤	棒状水による消火は、火災が激しくなったり飛び火したりするので、行ってはならない。
特有の危険有害性	見える炎で燃え広がる。 可燃性有機成分を含有するため、火災時に有害性物質を含む黒煙が発生するおそれがある(「10. 安定性及び反応性」参照)。 分解生成物へのばく露は健康を害する可能性がある。
消防士へのアドバイス	
消火を行う者の保護	完全な保護服と自給式呼吸器を着用する。
詳細情報	消火水を排水路や水路に流出させない。 火にさらされた密閉容器は散水して冷やす。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	「7. 取扱い及び保管上の注意」および「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の措置を行い、必要に応じて保護具を着用する。 粉じんの発生を避ける。
環境に対する注意事項	河川等に排出され、環境に影響を与えないように注意する。 製品が河川、湖水または排水管を汚染した場合は、関連当局に連絡する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材 漏出物を閉じ込め、防爆型の電気掃除機または湿ったブラシで集め、地域の規則(項目 13 を参照)に従い廃棄するために容器に移す。
 ブラシや圧縮空気を使用することによって、粉末煙を発生させてはならない。
 汚染面を十分に浄化する。
 洗剤で拭くこと、溶剤は避ける。
 汚染された洗浄水を保管し、処分する。

7. 取扱い及び保管上の注意

- | | |
|-----|---|
| 取扱い | <ul style="list-style-type: none"> ・個人用保護具に関しては「8. ばく露防止及び保護措置」を参照し、適切な保護具を着用し、眼や皮膚への接触や粉じんの吸入を避ける。 ・取扱い時には飲食、喫煙をしない。 ・本剤は可燃性の粉塵雲を空气中に形成し、それに着火すると粉塵爆発が起こる可能性がある。炎、高温面、火花や静電放電が着火源となりうる。本剤の燃焼特性から電気装置は静電気対策を施す。微量の可燃性溶媒を含有したり、可燃性溶媒が存在する場所での取り扱いによって燃焼特性は激化する。 ・作業は換気のよい場所で行う。 ・本剤は、ほとんどの作業で帯電する。原則として、本剤を取り扱う作業員及び装置はアースする。 ・本剤を入れるフレキシブルコンテナ(FIBC)はタイプ B、タイプ C またはタイプ D を用いる。タイプ C の場合、粉体が帯電・放電しないようにアースしなければならない。金属製ドラムもしくはファイバードラムを容器として用いる場合、充填機器に金属部品が付いていて、アースしていることをよく確かめる。 ・製品の飛散、漏出等がないようにする。 ・ラベルをよく読んでから、保管・使用する。 |
| 保管 | <ul style="list-style-type: none"> ・換気のよい冷暗所で、密封出来る容器に入れて鍵をかけて保管する。 ・小児の手の届かない所に保管する。 ・食品や飼料と区別して保管する。 ・盗難、紛失の際は警察に届け出る。 |

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策	<ul style="list-style-type: none"> ・取扱い時にはできるだけ密閉された装置、機器又は局所排気装置を使用する。 ・取扱い場所の近くに、洗眼および身体洗浄のための設備を設ける。 	
管理濃度	ジアフェンチウロン TWA 値	0.2mg/m ³ (皮膚) (シンジエンタ社)
許容濃度	カオリン OEL-C (吸入性粉じん)	0.03 mg/m ³ (シリカ) (日本産業衛生学会)
	OEL-M (吸入性粉じん)	0.5 mg/m ³ (日本産業衛生学会)
	OEL-M (総粉じん)	2 mg/m ³ (日本産業衛生学会)
	TWA (呼吸濃度)	2 mg/m ³ (ACGIH)
保護具	呼吸器用の保護具	防塵マスク
	手の保護具	不浸透性手袋

眼の保護具	ゴーグル型保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具	耐薬品性エプロン、もしくは不浸透性の衣類、ゴム長靴 等

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	粉末
色	類白色
可燃性	粉じん雲の濃度が爆発範囲に入るおそれがある。
見掛け比重	0.15～0.20g/cm ³
pH	6～8(1%w/v)
最低点火温度	500 °C
オクタノール／水分配係数	ジアフェンチウロン: log Pow = 5.76 (25°C)

10. 安定性及び反応性

安定性	通常の条件下では安定。
反応性	ほとんどないと考えられる。
危険有害反応可能性	通常の条件下では危険有害反応を起こさない。
避けるべき条件	取扱条件に従っているとき、特になし。
混触危険物質	知見なし。
危険有害な分解生成物	危険な分解生成物は知られていない。

11. 有害性情報

本製品の情報

急性毒性

経口 LD50	ラット	556 mg/kg(♂) 728 mg/kg(♀)
経皮 LD50	ラット	>2000 mg/kg
吸入 LC50	ラット(4hr)	1015 mg/m ³ (♂) 1686 mg/m ³ (♀)

皮膚腐食性/皮膚刺激性	ウサギ	皮膚刺激性なし
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	ウサギ	眼への刺激、21 日以内に回復
呼吸器感作性又は皮膚感作性	モルモット	皮膚感作性なし

生殖細胞変異原性	ジアフェンチウロンは動物実験で生殖細胞変異原性を示さなかった。
発がん性	本製品は、区分 1A に分類される結晶質シリカを含有するカオリンを含んでおり、結晶質シリカの量がカットオフ値の 0.1%以上であることから区分 1A とした。
生殖毒性	ジアフェンチウロンは生殖毒性はない。

特定標的臓器毒性
(反復ばく露)

本製品は区分 1B に分類されるほう酸及びほう酸ナトリウムを 0.1%以上 0.3%未満含む。カットオフ値未満であることから区分に該当しない。

本製品は、区分 2(肺)に分類されるジアフェンチウロンをカットオフ値の 10%以上含むことから区分 2(肺)とした。

12. 環境影響情報

生体毒性:

コイ LC ₅₀ (96hr)	0.324 mg/L
オオミジンコ EC ₅₀ (48hr)	0.0014 mg/L
藻類 ErC ₅₀ (72hr)	>100 mg/L

13. 廃棄上の注意

注意事項

廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従う。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上、処理を委託する。

空容器を廃棄する場合は、内容物を除去した後に適切に処分する。

14. 輸送上の注意

国際規制

国連分類	クラス 9
国連番号	3077
品名	環境有害性物質(固体)、N.O.S. (ジアフェンチウロン)
容器等級	III
海洋汚染物質	該当

輸送時の安全対策

運搬に際しては、容器に破損、漏れのないことを確認し、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。直射日光、風雨に直接暴露しない状態で輸送する。

15. 適用法令

農薬取締法	登録番号 第 19641 号
毒物及び劇物取締法	第 2 条 劇物
労働安全衛生法	名称等を通知すべき危険物及び有害物 法第 57 条の2(施行令別表第 9)
	ほう酸及びそのナトリウム塩
	結晶質シリカ

化管法

ジアフェンチウロン 第1種指定化学物質

ポリ(オキシエチレン)＝アルキルフェニルエーテル(アルキル基の炭素数が8のものに限る。) 第1種指定化学物質

直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩(アルキル基の炭素数が10から14までのもの及びその混合物に限る。) 第1種指定化学物質

16. その他の情報

記載内容の取扱い

製品安全データシートは、化学製品を安全に取扱うための参考資料として、当該化学製品を取扱う事業者には提供されるものであって、安全を保証するものではありません。また、ここに記載された数値は規格値や品質を保証する数値ではありません。

この製品安全データシートは、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、本品(当該製品)に関する全ての情報が網羅されているわけではありません。また、記載内容は当該製品の一般的な取扱いについて記載したものです。従って、当該製品を取扱う事業者は、個々の取扱い等の目的への適合性を判断し、この安全データシートや製品ラベルに記載のものを含め、実状に応じたあらゆる適切な予備的措置を講じてください。

当社のいかなる保証違反においての責任は、製品の交換又は購入額の払い戻しに限られます。当該製品を取扱う事業者が、上記の適切な予備的措置を講じなかった場合、シンジエンタは責任を負いません。

問合せ先

担当部門 HSEグループ

電話番号 03-6221-1027

中毒の緊急問合せ先

公益財団法人 日本中毒情報センター

中毒 110 番	一般市民向け受信相談 (情報料無料)	医療機関専用有料電話 (1件につき2000円)
大阪 (365日、24時間)	072-727-2499	072-726-9923
つくば (365日、9-21時)	029-852-9999	029-851-9999

ガンバ® はシンジエンタ社の登録商標です。